

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	010	彫刻のあるまちづくり推進事業費	事業3	001	彫刻のあるまちづくり推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 本市の文化芸術の振興
- ・内容 彫刻のあるまちづくり事業の市民理解を深めるとともに、野外彫刻の適切な維持管理に努める
- ・SDGs 17 パートナースhipで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 野外彫刻の設置による文化芸術の振興、彫刻の長寿命化
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策231 市民の文化芸術活動の振興）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 2,497千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 18,560千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 1,594千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度・彫刻点検委託の実施
 - ・彫刻修繕の実施
 - ・彫刻損害保険の加入
 - ・野外彫刻アートウォーキングの開催
 - ・秦野丹沢野外彫刻展の開催（公募・審査）
- ・令和7年度・彫刻修繕の実施
 - ・彫刻損害保険の加入
 - ・野外彫刻アートウォーキングの開催
 - ・秦野丹沢野外彫刻展（マーケット展（一般公開））の開催
 - ・秦野丹沢野外彫刻展で入賞した作品2基の実物制作・設置

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

野外彫刻のメンテナンスのほか、ボランティアである彫刻愛し隊の協力を得て日常的な点検を行い、彫刻の長寿命化を図っ

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	010	彫刻のあるまちづくり推進事業費	事業3	001	彫刻のあるまちづくり推進事業費

ている。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

彫刻のあるまちを謳っている本市を市内外にPRするとともに、野外彫刻と共に来訪者が写真を撮りたくなるスポットを市内外に発信する。

引き続き、彫刻のあるまちづくり事業の市民理解を深めるとともに、野外彫刻の適切な維持管理に努める。

- ・ 彫刻修繕の実施
- ・ 彫刻損害保険の加入
- ・ 野外彫刻アートウォーキングの開催
- ・ Instagramキャンペーンの開催

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

野外彫刻展終了による減額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

今後も継続して野外彫刻の維持管理、市民啓発に努める。また、新たに設置する野外彫刻がインスタ映えスポットとなるよう整備し、表丹沢の魅力の向上に努めるとともに、観光客誘致を図る。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	020	文化活動支援事業費	事業3	001	文化活動支援事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民文化の振興と向上
- ・内容 文化団体の活性化を図るとともに、市民の文化活動を推進する
- ・SDGs 17 パートナースhipで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 文化団体の活動が円滑かつ活発に行われることで、伝統芸能・生活文化が継承され、市民の鑑賞機会が確保される
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策231 市民の文化芸術活動の振興）、生涯学習推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 736千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 731千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 731千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度
 - ・市内文化活動への後援等を通じた支援ほか、文化活動の連携調整。
 - ・9月から12月に掛けて、秦野市文化団体協議会を主管として各部門の発表や展示を行うことにより文化芸術の向上を図るとともに、より多くの市民が鑑賞できる機会を提供した。
 - ・文化団体協議会の文化振興大会及び視察研修事業を補助支援した。
- ・令和7年度
 - ・市内文化活動への後援等を通じた支援ほか、文化活動の連携調整。
 - ・9月から11月に掛けて、文化団体協議会を主管として各部門の発表や展示を行うことにより文化芸術の向上を図るとともに、より多くの市民が鑑賞できる機会を提供した。
 - ・文化団体協議会の文化振興大会及び視察研修事業を補助支援した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

- ・文化芸術活動団体事業の名義後援事務などを通じて、文化芸術活動の支援ができた。
- ・伝統的芸能・生活文化の担い手が少なくなる中、文化祭の開催を通じて市民の鑑賞機会を確保し、芸能文化の意義を市民

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	020	文化活動支援事業費	事業3	001	文化活動支援事業費

に伝えていくことは重要であり、事業を継続する必要がある。
 ・文化団体協議会による多彩な文化芸術発表会を支援し、多くの市民が鑑賞できる機会をつくることができた。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・市内文化活動への後援等を通じた支援のほか、文化活動の連携調整を行う。
- ・9月から11月に掛けて、文化団体協議会を主管として各部門の発表や展示を継続して開催することにより、文化芸術の向上を図るとともに、より多くの市民が鑑賞できる機会を提供する。
- ・文化団体協議会の文化振興大会及び視察研修事業を補助支援する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
該当なし
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

文化芸術活動への支援を行う。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	030	市展、子どもの市展開催経費	事業3	001	市展、子どもの市展開催経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 美術・写真・書道の3部門の公募作品を展示する「市展」と、美術・写真・書道・報徳の4部門で小・中学生を対象とした「子どもの市展」を開催する
- ・内容 市民の文化芸術活動の向上を図るとともに、将来の市民文化芸術活動の担い手を育成する
- ・SDGs 17 パートナリーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 より多くの市民が文化芸術の創作活動に携われるようにするとともに、創作作品を鑑賞できる機会をつくる
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策231 市民の文化芸術活動の振興）、生涯学習推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）: 3,618千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 4,195千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）: 1,019千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）: 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 市展：美術・写真・書道の3部門の公募展を実施した。
子どもの市展：小・中学生対象に美術・写真・書道・報徳の4部門の公募展を実施した。
なお、クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）の改修工事に伴う休館により、市展はメタックス体育館はだの（総合体育館）、子どもの市展は本町公民館で開催した。
- ・令和7年度 市展：美術・写真・書道の3部門の公募展を実施した。
子どもの市展：小・中学生対象に美術・写真・書道・報徳の4部門の公募展を実施した。
なお、クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）の改修工事に伴う休館により、市展はメタックス体育館はだの（総合体育館）、子どもの市展は本町公民館で開催した。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

- ・「市展」は各分野とも質の高い作品が出品され、創作活動の発表の場を確保することで市民の創作意欲を高めると

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	030	市展、子どもの市展開催経費	事業3	001	市展、子どもの市展開催経費

もに、市民が芸術作品に広く触れられるようにすることができた。

・「子どもの市展」は、多数の子どもたちの創作意欲、芸術感性を高める機会をつくることができた。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

- ・市展：3年ぶりに美術・写真・書道の各部門ごとにクアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）で開催する。
- ・子どもの市展：小・中学生を対象に、美術・写真・書道・報徳の4部門の第44回公募展をクアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）で開催する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

文化会館の工事に伴う会場設営委託料が不要になったことによる減額

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

各主管団体等と連携を図りながら、出展者、来場者を増やすため周知方法を検討するとともに、市展・子どもの市展を通じて文化芸術活動の担い手を育成していく。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	040	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）管理運営費	事業3	001	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 施設の安全確保、機能維持を図る
- ・内容 文化会館の管理運営に必要な経費
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 安全かつ計画的な利用環境の提供。
- ・目標値 文化会館の入場者数、施設利用者数（年間） 200,000人（令和8年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市文化会館条例
- ・計画 総合計画（基本施策231 市民の文化芸術活動の振興）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 229,154千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,068,888千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 178,954千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 指定管理制度への移行3年目となり、指定管理者と連携して文化会館を管理運営した。
また、特定天井改修工事に係る入札を執行したが、2度の不成立により工法変更を行い、新たな工法での実施設計委託業務を実施した。
指定管理制度導入2年目の評価をするため、文化会館指定管理者選定評価委員会を開催し外部評価を行った。
- ・令和7年度 指定管理制度への移行4年目となり、指定管理者と連携して文化会館を管理運営した。
また、特定天井改修工事に係る入札を執行し、大・小ホール等の改修工事を実施した。
指定管理制度導入3年目の評価をするため、文化会館指定管理者選定評価委員会を開催し外部評価を行った。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

- ・令和6年度の施設利用者数は7月より特定天井工事による休館をしたため、約24,432人だった。指定管理者選定評価委員会からの指摘や、指定管理者のノウハウを活かした事業実施が必要。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	040	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）管理運営費	事業3	001	クアーズテック秦野カルチャーホール（文化会館）管理運営費

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
 指定管理者と連携して文化会館を管理運営する。
 設備の老朽化に伴う改修・更新工事を実施する。
 次期指定管理者の公募・選定を行う。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 (1) 増減理由
 特定天井等改修工事完了に伴う工事費の減
 (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 突発的な休館や利用停止が生じないように、指定管理者と連携して適切に管理運営を行う。
- 8 その他
 (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
 (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
 (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 指定管理制度の実施

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	050	宮永岳彦記念美術館管理運営費	事業3	001	宮永岳彦記念美術館管理運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 宮永岳彦記念美術館運営による文化芸術作品の鑑賞、市民の創作活動の展示発表の場の提供を通じて文化振興を図る
- ・内容 宮永岳彦記念美術館の適切な管理運営を行うとともに、宮永作品のさらなる周知を図り、優れた芸術作品の鑑賞や創作を体験できる自主事業を推進する
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効果 より多くの市民が宮永作品に触れ、芸術鑑賞ができるようにするとともに、市民の自主的な創作活動の発表の機会をつくる
- ・目標値 宮永岳彦記念美術館及びはだの浮世絵ギャラリーの来場者数29,780人（令和8年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市立宮永岳彦記念美術館条例
- ・計画 総合計画（基本施策231 市民の文化芸術活動の振興）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 19,782千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 36,325千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 23,531千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容[D]

- ・令和6年度 美術館ワクワク探検、企画展「宮永岳彦 何者?」、企画展「衣装でみる宮永岳彦 ～伝統と流行～」、ギャラリーコンサート
- ・令和7年度 美術館ワクワク探検、企画展「グラフィックデザイナー宮永岳彦」、企画展「宮永岳彦の芸術」、ギャラリーコンサート

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

多面的な表現者として多彩に活躍した宮永岳彦の作品を通じて、その人物像に迫った展示を行ったほか、自主事業の実施を通して新たな鑑賞者の誘客に努めた。引き続き集客に努め、優れた芸術作品を広く鑑賞する機会を提供していく。来館者から新たなミュージアムグッズの要望が寄せられており、集客増のための有効な手段として、引き続き美術館の魅力を高める新グッズの製作・提供に取り組む。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	050	宮永岳彦記念美術館管理運営費	事業3	001	宮永岳彦記念美術館管理運営費

また、寄贈から30年が経過した宮永作品の最適な保全・活用を図る必要がある。

- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
引き続き、宮永画伯の魅力を引き出すような展示を行うとともに、自主事業の開催などにより新たな来館者の誘客に努める。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
 - (1) 増減理由
照明設備更新工事終了による減額
 - (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
宮永画伯及び美術館の魅力を引き出すための魅力ある企画展及び自主事業に取り組む。
- 8 その他
 - (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
 - (2) 自然災害対策への取組
該当なし
 - (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	060	はだの浮世絵ギャラリー運営費	事業3	001	はだの浮世絵ギャラリー運営費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・目的 市の貴重な文化芸術資源である浮世絵を広く市民が鑑賞できる機会を提供する
- ・内容 はだの浮世絵ギャラリーの定期的な企画展示、浮世絵の解説、広報等のギャラリー運営を行う
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに

(2) 効果・目標値

- ・効果 より多くの市民が浮世絵を鑑賞できるようにし、日本の伝統文化への理解を深める
- ・目標値 宮永岳彦記念美術館及びはだの浮世絵ギャラリー来場者数 29,780人（令和8年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策231 市民の文化芸術活動の振興）

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 1,561千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 1,660千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 1,818千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 企画展示（6回）、ギャラリートーク（6回）、ホームページでの浮世絵作品紹介
- ・令和7年度 企画展示（6回）、ギャラリートーク（6回）、ホームページでの浮世絵作品紹介

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]

浮世絵に関する専門的知識・技術を持った職員による企画展示やギャラリートークなどにより、質の高い展示運営を行うことができた。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]

約2か月おきに企画展示を更新するとともにギャラリートーク等を開催し、多くの集客や作品紹介に努める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	060	はだの浮世絵ギャラリー運営費	事業3	001	はだの浮世絵ギャラリー運営費

昇給に伴う会計年度任用職員の報酬の増額、郵送料金の新規計上

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 会計年度任用職員月額報酬：R7年度 110,781円、R8年度 114,392円

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 より多くの見学者に足を運んでもらえるようマスメディア等を活用し広報・PRに取り組む。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	070	文化振興基金活用事業費	事業3	001	文化振興基金活用事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 文化振興基金を活用し、市民等への文化芸術活動に助成を行う
- ・内容 市民の文化芸術活動の振興
- ・SDGs 17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 文化振興基金を活用し文化芸術活動に助成をすることで、より多くの市民が文化芸術に接することとなり、質の高い文化芸術活動の展開が期待できる
- ・目標値 助成制度申請件数 10件（令和8年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策231 市民の文化芸術活動の振興）、生涯学習推進計画

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率） : 1,221千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 2,147千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率） : 2,267千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率） : 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の取組内容 [D]

- ・令和6年度 文化振興基金活用事業助成の公募を行い、7件の申請があった。
文化振興基金活用懇話会の助言を受け、7件の助成決定を行った（うち1件は助成辞退）。
- ・令和7年度 文化振興基金活用事業助成の公募を行い、6件の申請があった。
文化振興基金活用懇話会の助言を受け、5件の助成決定を行った。

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

文化振興基金活用事業助成制度について、より多くの市民が文化芸術に接し、幅広い文化芸術活動が展開されるよう、さらなる周知を図る必要がある。

制度開始から7年が経過し、文化芸術団体のニーズや課題が多様化する中で、文化芸術活動のさらなる発展に向けて、制度の見直しを図っていく。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	070	文化振興基金活用事業費	事業3	001	文化振興基金活用事業費

- ・文化振興基金活用事業助成制度の広報、公募、決定、交付
- ・文化振興基金の新たな体制への移行

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

懇話会委員謝礼の改定及び懇話会開催回数増による増加

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- ・謝礼（1人当たり） 令和7年度 7,800円→令和8年度 9,600円
- ・開催回数 令和7年度 年2回→令和8年度 年3回

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

本市の文化振興を図るため、文化振興基金活用事業助成制度についての広報活動を充実させ、より地域貢献性や創造性のある事業への助成を行う。

8 その他

(1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

該当なし

(2) 自然災害対策への取組

該当なし

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	080	文化振興基金積立金	事業3	001	文化振興基金積立金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 文化振興基金への積立てを行う
- ・内容 市民の個性豊かな創造性に富んだ文化活動を推進するための安定的な財政基盤を市民と一体となって築く
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民と一体となって文化芸術活動を推進するための安定的な財政基盤を築く。
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市文化振興基金の設置、管理及び処分に関する条例
- ・計画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和6年度決算 事業費 (進捗率) : 152千円 ()
- ・令和7年度予算 事業費 (進捗率) : 180千円 ()
- ・令和8年度予算 事業費 (進捗率) : 905千円 ()
- ・令和9年度以降 事業費 (進捗率) : 千円 ()

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度 文化振興基金の利子と文化活動推進寄附金の積立
- ・令和7年度 文化振興基金の利子と文化活動推進寄附金の積立

4 事業の自己評価(目標値に対する効果の検証・課題・問題点等)[C]

文化振興基金の周知のため、基金活用事業助成制度と合わせてチラシやポスターにより広報活動を行っているが、今後のさらなる周知方法の検討が必要。

5 令和8年度の主な取組(課題解決への取組等)[A]

より多くの寄附がなされるよう、継続して広報活動に取り組む。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	12	文化活動推進費	事業1	013	01020112
事業2	080	文化振興基金積立金	事業3	001	文化振興基金積立金

基金預金利率の上昇による増額

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 令和4年度 316,305円
 令和5年度 64,789円
 令和6年度 152,208円

- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
 より多くの寄附がなされるよう、広報活動を継続する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 該当なし
 (2) 自然災害対策への取組
 該当なし
 (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	13	地域活動推進費	事業1	014	01020113
事業2	060	外国籍市民支援事業費	事業3	001	外国籍市民支援事業費

事業の概要

1 事業概要 [P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 国籍等にかかわらず、誰もが互いに尊重しあい、安心して暮らすことができる地域を目指す
- ・内容 市民ボランティア団体と連携し、日本語教室や国際理解事業等を展開する
- ・SDGs 4 質の高い教育をみんなに
10 人や国の不平等をなくそう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 市民が身近に国際社会を感じ、外国籍市民と共に暮らしやすい地域づくりが図られる
- ・目標値 日本語教室や国際理解事業等の年間参加人数：740人（令和8年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画（基本施策513 人権を尊重し多様性を認めあう社会づくりの推進）、生涯学習推進計画、こども計画、地域福祉計画、はだの男女共同参画推進プラン

2 全体計画 [P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 673千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 879千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 903千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度 of 取組内容 [D]

- ・令和6年度 日本語教室、国際交流フェスティバル、かながわ医療通訳派遣システム分担金、外国籍市民ニーズ調査
- ・令和7年度 日本語教室、国際交流フェスティバル、かながわ医療通訳派遣システム分担金

4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等） [C]

- ・外国人に関する近年の社会情勢の変化を踏まえながら、外国籍市民のニーズに合わせた事業展開に取り組む必要がある。
- ・外国籍市民の日本語学習支援を推進するとともに、人の交流やつながりを充実させる国際交流事業を実施する。
- ・より多くの市民及び外国籍市民が事業に参加できるよう、周知を図る。
- ・他の国際交流団体や関係機関・市民ボランティア等との連携を密にし、外国籍市民支援事業の充実を図る。

5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等） [A]

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	13	地域活動推進費	事業1	014	01020113
事業2	060	外国籍市民支援事業費	事業3	001	外国籍市民支援事業費

- ・外国籍市民向けの日本語教室を開催し、地域の日本語学習支援の充実を図る。
- ・地域住民と外国籍市民が交流できる国際交流フェスティバルを開催し、相互理解を促進する。
- ・外国籍市民の数が増加傾向にある中、日本語教室ボランティアの人材不足を解消するため、県の市町村支援型モデル事業を活用して、ゼロ予算で新たにボランティア養成講座を開催するとともに、国際交流協会や、東海大学、日本語学習支援団体等と協力し、高校生や大学生がボランティア活動に参加しやすいよう体験教室などを行い、人材養成・確保に努める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

- ・災害時における迅速な情報伝達や日常生活における外国人とのコミュニケーション能力の向上を促進するため、県の補助金を活用して、新たに「防災に関するやさしい日本語セミナー」を開催するため、増額するもの。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

- 外国籍市民の人口推移
- ・平成27年度：2,970人
 - ・令和 2年度：3,820人
 - ・令和 7年度：4,893人

7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]

日本で暮らす外国人の定住化が進み、生活面・社会面における問題を抱えている外国籍市民が増えている中、その問題解決に地域と共に取り組んでいくため、関係機関やボランティア団体等と協力しながら日本語学習支援の充実や外国籍市民とのコミュニケーションの場を提供し、日本人と外国人が共に暮らしやすくなる地域づくりを促進する。

8 その他

- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	17	諸費	事業1	019	01020118
事業2	010	都市交流事業費	事業3	001	都市交流事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 市民の国際理解と平和意識を高める
- ・内容 市民友好団体と協働し、姉妹・友好都市との市民間の交流機会の拡大に努める
- ・SDGs 16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 国際性豊かな市民意識の醸成と、平和意識の高揚が図られる
- ・目標値 国際交流事業の年間参加者数:413人（令和8年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画(基本施策233 平和意識の普及・啓発の推進)、生涯学習推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : _____
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 9,543千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 11,312千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 9,041千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： _____千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度
 - ・パサデナ市との交流事業の実施（姉妹都市提携60周年記念事業、青少年オンライン交流等）
 - ・坡州市との交流事業の実施（青少年相互交流事業、少年サッカー交流（訪問）、市民親善訪問団（訪問）等）
 - ・諏訪市との交流支援の実施（交流促進事業補助金の交付）
 - ・国際交流事業については、関係団体等の意見を踏まえ、多くの市民が参加できる事業を展開するよう努めた。
- ・令和7年度
 - ・パサデナ市との交流事業の実施（青少年訪問団の派遣、青少年オンライン交流等）
 - ・坡州市との交流事業の実施（友好都市提携20周年記念代表団歓迎事業（受入）、青少年相互交流事業、秦野市少年サッカー交流（受入）等）
 - ・諏訪市との交流支援の実施（交流促進事業補助金の交付）
 - ・国際交流事業については、関係団体等の意見を踏まえ、多くの市民が参加できる事業を展開するよう努めた。

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	17	諸費	事業1	019	01020118
事業2	010	都市交流事業費	事業3	001	都市交流事業費

- 4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]
- ・民間団体主体の自主的な交流の促進を図る。
 - ・パサデナ市との交流事業については、中学生及び高校生で構成する青少年訪問団を派遣し、交流を行った。
 - ・坡州市との交流事業については、青少年交流や市民交流が本格的に再開するとともに、友好都市提携20周年記念事業を実施することができた。
 - ・諏訪市交流促進事業補助金では、直近交付団体からの聞き取りで、交流事業継続意思があること、諏訪市訪問に係る経費の値上げによる団体負担が増加していることが分かったが、有事の際の支援など、姉妹都市との交流を続けることで得られるメリットも多いことから諏訪市交流促進事業補助金は継続するもの。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
- ・パサデナ市との交流事業の実施（青少年オンライン交流等）
 - ・坡州市との交流事業の実施（青少年相互交流事業、少年サッカー交流（訪問）、市民親善訪問団（訪問）等）
 - ・諏訪市との交流支援の実施（交流促進事業補助金の交付）
 - ・国際交流事業については、関係団体等の意見を踏まえ、多くの市民が参加できる事業を展開するよう努める。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
- (1) 増減理由
- ・パサデナ市への青少年訪問団派遣事業は、隔年で実施しているため減額。
 - ・坡州市との友好都市提携20周年記念事業終了に伴う減額。
 - ・海外渡航費用の高騰による増額。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
- ・国際交流は、民間同士の草の根交流を基本として、市民・友好協会等各団体と協力して進める。
 - ・青少年交流については、引き続き教育委員会と協力し、次代を担う青少年の異文化交流、国際感覚の醸成を図る。
 - ・行政においても、相互交流を通して、市民の交流を先導する。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	17	諸費	事業1	019	01020118
事業2	010	都市交流事業費	事業3	001	都市交流事業費

(3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
該当なし

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	17	諸費	事業1	019	01020118
事業2	020	平和推進事業費	事業3	001	平和推進事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 目的・内容・SDGsの該当目標

- ・目的 平和都市宣言及び平和の日の趣旨を広め、市民の平和意識を高める
- ・内容 市民と協働して平和啓発事業を推進するとともに、市民の主体的な平和学習等を促進する
- ・SDGs 16 平和と公正をすべての人に
17 パートナーシップで目標を達成しよう

(2) 効果・目標値

- ・効果 平和意識の高揚が図られる。
- ・目標値 平和啓発事業参加者数：1,320人（令和8年度）

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 該当なし
- ・計画 総合計画(基本施策233 平和意識の普及・啓発の推進)、生涯学習推進計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費：
- ・令和6年度決算 事業費（進捗率）： 1,413千円（ ）
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 1,488千円（ ）
- ・令和8年度予算 事業費（進捗率）： 1,575千円（ ）
- ・令和9年度以降 事業費（進捗率）： 千円（ ）

3 令和6年度・令和7年度の取組内容[D]

- ・令和6年度
親子ひろしま訪問団
平和の日事業（戦後80年被爆体験講話、ピースキャンドルナイトなど）
市民と協働した平和を考えるフォーラム
平和の灯モニュメントの維持管理
ウクライナの子 日本の子 友達絵画展を実施
- ・令和7年度
親子ひろしま訪問団
平和の日事業（ピースキャンドルナイトなど）
市民と協働した平和を考えるフォーラム
平和の灯モニュメントの維持管理

令和 8 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 8年 2月16日

所属	0123300000	文化振興課	会計	01	一般会計
款	02	総務費	項	01	総務管理費
目	17	諸費	事業1	019	01020118
事業2	020	平和推進事業費	事業3	001	平和推進事業費

- 4 事業の自己評価（目標値に対する効果の検証・課題・問題点等）[C]
- ・親子ひろしま訪問団では、団員が通う学校に被爆アオギリ二世の植樹を行い、その際に団員が訪問団や被爆アオギリ二世について話をすることで原爆や戦争の悲惨さ、命の尊さをより多くの秦野市の児童生徒に伝えることができた。
 - ・戦争体験の語り部は、高齢化に伴い年々減少しており、戦争や被爆の実相を後世にどのように継承していくかが課題。
 - ・平和の日の集いでは、戦後80年を迎え、戦争や被爆の体験を風化させることなく後世に継承するため、被爆体験講話を開催した。
 - ・ピースキャンドルナイトでは、ペットボトルキャンドルに加えて、竹林整備団体の協力により竹灯籠を設置し、市内の竹林整備への取り組むとともに、環境に配慮した平和事業を実施した。
- 5 令和8年度の主な取組（課題解決への取組等）[A]
- ・平和を希求する自治体として、引き続き、市民へ平和意識を啓発していくため、被爆地への訪問事業や平和の日事業を実施していく。
 - ・引き続きピースキャンドルナイトの持続可能な開催方法を検討していく。
- 6 要求額の増減理由・根拠[A]
- (1) 増減理由
- ・親子ひろしま訪問団事業における宿泊費の高騰による増額。
 - ・複数年度活用することができる竹灯籠の制作費用による増額。
 - ・実行委員会Tシャツの在庫切れに伴う増額。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
- 該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の必要性、方向性・改善方法）[A]
- ・被爆地への訪問事業については、訪問先での学習等の内容を踏まえ、実施の効果が十分に得られる内容とする。
 - ・市民と協働した平和関連事業を継続的に実施していくことで、市民一人ひとりが平和や命の大切さを考え、行動するきっかけづくりを行い、若い世代が平和や命の大切さを考えることができる平和学習の推進に取り組む。
- 8 その他
- (1) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
- 該当なし
- (2) 自然災害対策への取組
- 該当なし
- (3) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
- 該当なし